

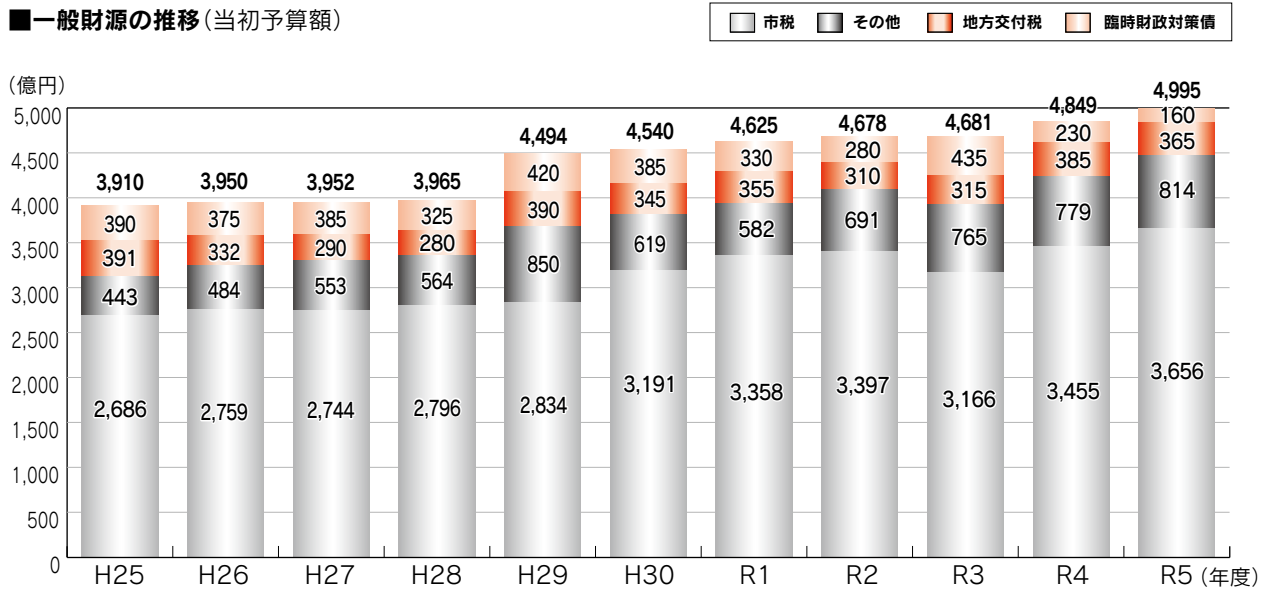
## 2 福岡市の財政状況はどんなの？

### ●収入や支出はどうなってるの？

#### 一般財源は増加

一般財源のうち、市税収入は、個人市民税・固定資産税の増などにより、過去最大の規模となりました。一方で、市税収入の増加等に伴い、実質的な地方交付税は減少しています。

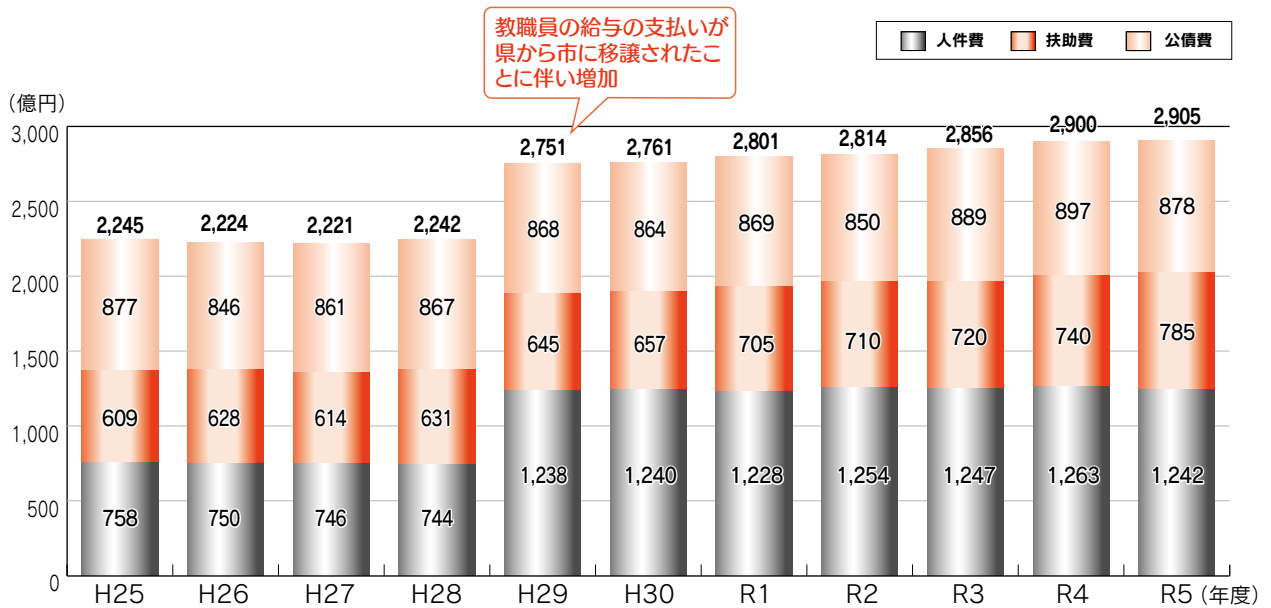
■一般財源の推移(当初予算額)



#### 義務的経費の支出が高止まり

福祉や医療などの固定的な経費(義務的経費)が増加しています。

■義務的経費(一般財源)の内訳(当初予算額)



#### 用語の解説

##### 義務的経費

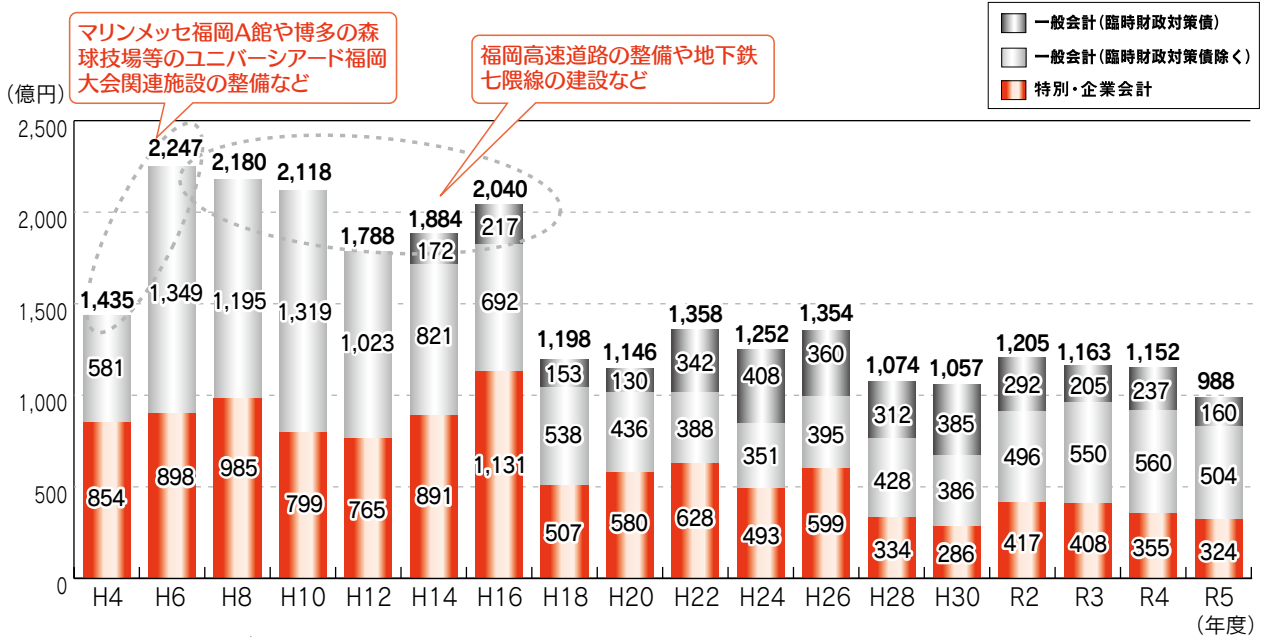
歳出において、人件費、扶助費(生活保護費などの医療・福祉経費)、公債費(借金の返済)を合わせた毎年必要な固定的な経費です。

## ●新たにいくら借金するの？

### 市債発行額は、988 億円

令和5年度の市債発行額は988億円です。平成初期から中期にかけては、マリンメッセ福岡A館や博多の森球技場等の施設整備や福岡高速道路や地下鉄七隈線といった都市基盤の整備などで市債発行額が2,000億円を超えることもありましたが、近年は1,000億円程度で推移しています。

■市債発行額の推移 (全会計 ～R3：決算額 R4：最終予算額 R5：当初予算額)



## ●借金はいくらあるの？

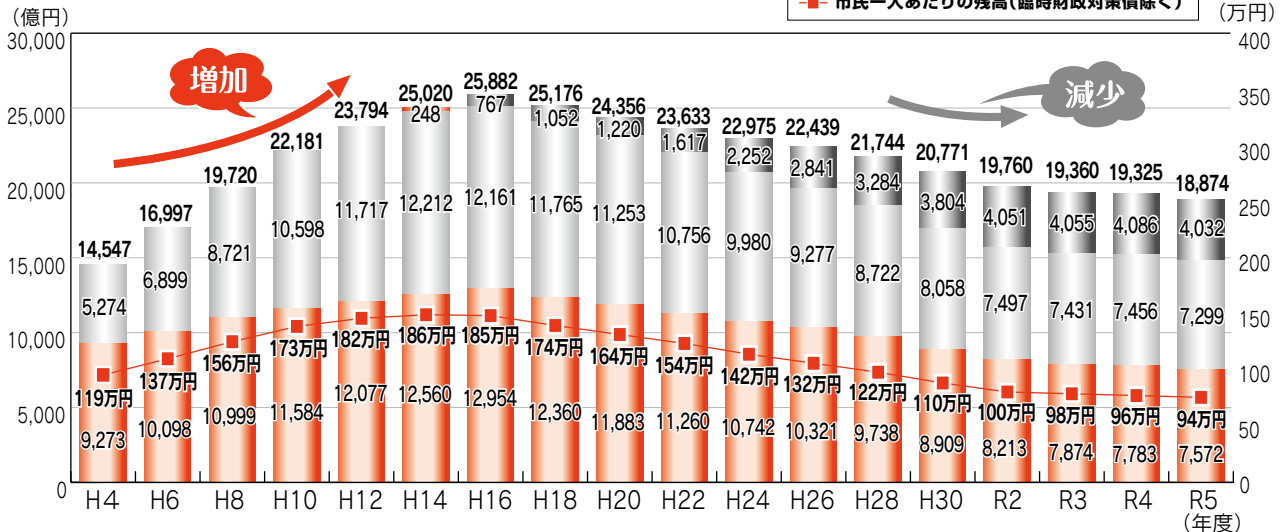
### 市の借金は、およそ1兆8,874億円

市債残高は、最大時の平成16年度末には2兆5,000億円以上になりました。その後、毎年、新たに発行する市債の額を抑制することなどにより、市債残高は着実に減ってきており、令和5年度末には1兆8,874億円程度になる見込みです。

また、国が後年度に財源を措置する臨時財政対策債を除き、市民一人あたりに換算すると、ピーク時の約半分まで減少する見込みです。

■市債残高(満期一括積立金を除く)の推移

(全会計 ～R3：決算額 R4：最終予算額 R5：当初予算額)

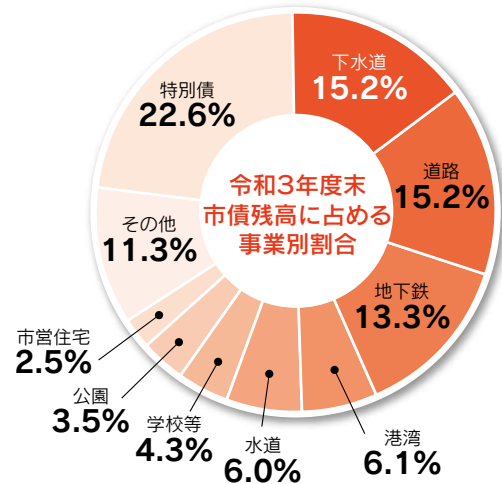


## ●借金（市債）は何に使っているの？

主に下水道や道路など、将来世代の市民も使う公共施設をつくるために使用

借金（市債）は、主に何十年の長期にわたって使用する公共施設をつくるための財源となっています。

その理由は、下水道や道路などの長期にわたって使用する公共施設については、施設をつくる年の市民だけで全ての建設費用を負担するのではなく、施設を使用して便益を受ける将来世代の市民にも負担してもらうことが公平だと考えられるためです。



### ■市の社会資本の整備水準比較

	平成4年度(1992年度)	令和3年度(2021年度)
下水道普及率(人口普及率)	93.2%	99.7%
都市計画道路の整備率	41.2%	84.8%
地下鉄の営業キロ数	17.8km	29.8km
水道施設能力(供給できる水量)	673,300m <sup>3</sup> /日	780,900m <sup>3</sup> /日

平成4年度からの30年間で…  
 ⇒ 6.5%上昇  
 ⇒ 43.6%上昇  
 ⇒ 12km延長  
 ⇒ 107,600m<sup>3</sup>/日の増量

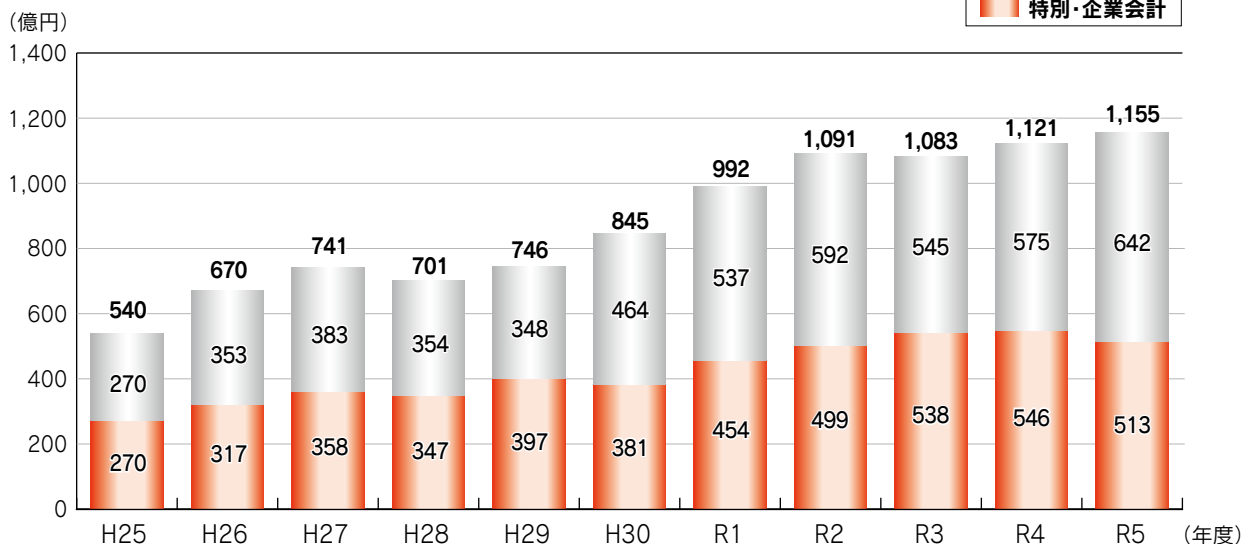
## ●借金を減らしているけど、施設の更新（投資）はしないの？

公共施設などの長寿命化や機能向上、建替えなどに1,155億円

令和5年度のアセットマネジメント\*事業費は1,155億円です。道路の大規模修繕や市営住宅の建替えなど、市民が市有施設を安全・安心に利用できるように、市債発行をコントロールしつつ投資的な経費も確保しています。

※アセットマネジメント：公共施設の管理水準を一定に維持するとともに、計画的な施設の整備、維持管理、大規模修繕などを実施することにより、施設を延命化し、コスト縮減を実現するための資産管理手法

### ■アセットマネジメント事業費の推移(当初予算額)

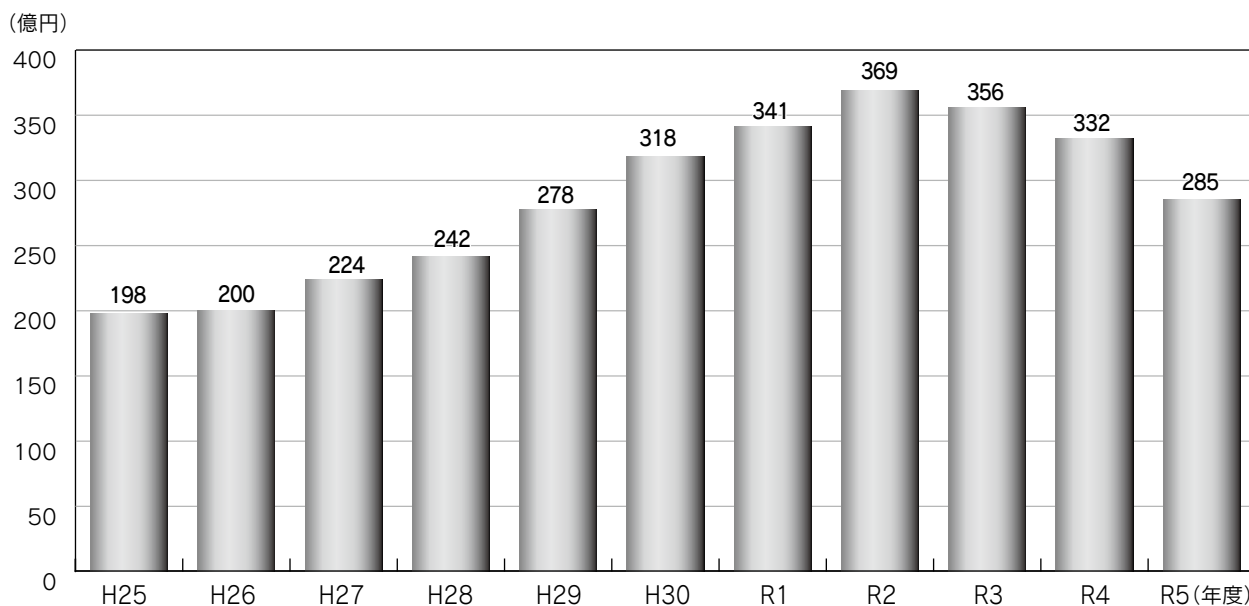


## ●貯金はいくらあるの？

### 財政調整基金の状況

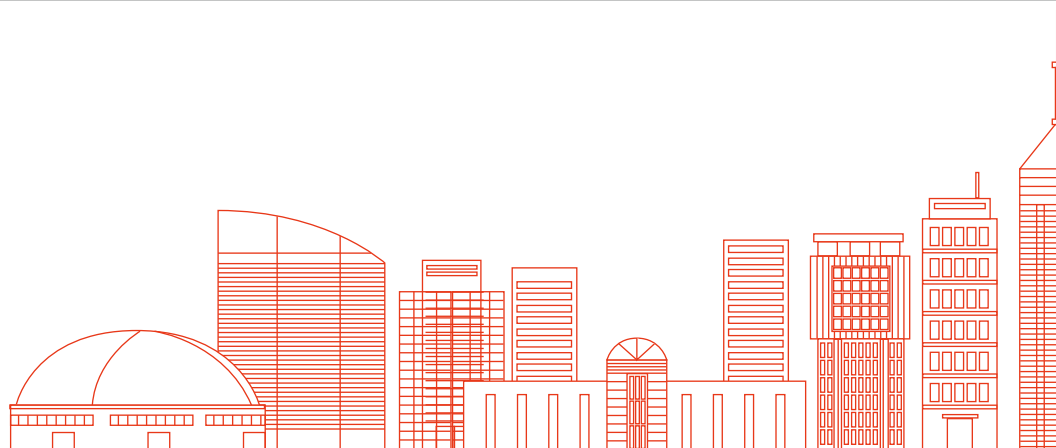
財政調整基金は、年度間の財源の不均衡等を調整するための基金で、財源に余裕がある場合や決算剰余金が発生した場合に積み立てを行っています。経済情勢の変動によって財源が不足する場合や、災害発生など緊急に支出が必要な場合等に取り崩して活用しています。

■財政調整基金残高の推移（～R3：決算額 R4：決算見込額 R5：当初予算額）



## ●福岡市の財政状況のまとめ

- 令和5年度は、市税収入が増加し、一般財源は増加しています。
- 福祉や医療などの固定的な費用は、高止まりしています。
- 借金(市債)をして投資することで、市の社会資本の整備が進みました。
- 市債残高(借金)は確実に減少しつつあります。市民一人あたりに換算すると、令和5年度末にはピーク時の約半分まで減少する見込みです。
- 市施設などの長寿命化や機能向上、建替えなどの投資にも力をいれています。
- 将来世代に過度な負担を残さないためにも、投資と借金のバランスをとりながら、健全な財政運営の取組みを着実に進めていきます。



# 3 福岡市の財政をどうやりくりしていくの？

※財政運営プラン(令和3年6月策定)より抜粋

## ●将来にわたり持続可能な財政運営に向けた取組みの方向性は？

### <基本的な方針>

- 本市財政の見通しを踏まえ、市民生活に必要な行政サービスを安定的に提供しつつ、重要施策の推進や新たな課題に対応するために必要な財源を確保できるよう、政策推進プランに基づき投資の選択と集中を図るとともに、歳入の積極的な確保や行政運営の効率化、既存事業の見直しなど徹底した事業の選択と集中や不断の改善に取り組みます。
- また、中長期的に、「生活の質の向上」と「都市の成長」のために必要な施策事業の推進により税源の涵養を図りつつ、超高齢社会に対応する持続可能な仕組みづくりやアセットマネジメントの推進、市債残高の縮減に向けた市債発行の抑制などにより、将来にわたり持続可能な財政運営に取り組みます。

### <主な取組み>

#### 取組1 歳入の積極的な確保

- ①市税及び税外債権の確保
- ②市有財産の有効活用等による財源の確保

#### 取組2 行政運営の効率化

- ①民間活力・ICTの活用や組織の最適化
- ②企業会計・特別会計における見直し
- ③外郭団体等の見直し

#### 取組3 役割分担、関与の見直し

- ①ガイドラインに沿った補助金の適切な運用
- ②国・県との財政負担の適正化
- ③規制緩和による民間活力の誘導

#### 取組4 行政サービスのあり方の転換

- ①持続可能な個人給付施策等の構築
- ②使用料等における受益者負担の適正化

#### 取組5 公共施設等の見直し

- ①施設の維持管理コストの縮減
- ②施設の老朽化への適切な対応
- ③施設の必要性の見直しや配置の最適化

#### 取組6 市債発行の抑制、市債残高の縮減

- ①長期的な市債残高の縮減に向けた発行抑制
- ②将来負担比率の適正な管理

## ●将来にわたり持続可能な財政運営に向けた令和5年度における取組みは？

### 財源の確保

令和5年度の予算編成においては、「歳入の積極的確保」や「行政運営の効率化」などの取組みを進めることで、約48億円の財源を確保しました。

#### 財源確保総額

**48億円**

#### 行政運営の効率化

**1億円**

油山市民の森等の一体運営による効率化等

0.4億円  
など

#### 歳入の積極的な確保

**44億円**

##### ①市税及び税外債権の確保

**21億円**

市税収入率の向上[R4 98.29%→R5 98.61%]

12億円

宿泊税収入の増

7億円

など

##### ②その他歳入の確保

**23億円**

ふるさと納税寄付の確保

13億円

未利用地等の売却・貸付

8億円

など

#### その他役割分担、関与の見直し

**3億円**

消防ヘリコプター維持管理に伴う県補助金の確保

0.6億円  
など

## 福岡市のSDGsの取組みについて

SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、「誰一人取り残さない持続可能な社会」を実現するために、2015年の国連サミットで採択された、2030年を期限とする17の国際目標です。

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」に基づき、経済的な成長と、安全・安心で質の高い暮らしのバランスが取れた、コンパクトで持続可能な都市づくりを進めることにより、SDGsの達成に取り組んでいます。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### 財政・予算に関する資料

●福岡市ホームページ <https://www.city.fukuoka.lg.jp>

- ▶ 財政状況については 市政全般→予算・決算・市債・寄付等→「決算」あるいは「財政の概要」
- ▶ 予算については 市政全般→予算・決算・市債・寄付等→「予算」

#### 財政・予算についてのお問い合わせ

●福岡市財政局財政部財政調整課

電話：092-711-4166

ファックス：092-733-5586

メール：zaisei.FB@city.fukuoka.lg.jp

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1